

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

|                |                       |    |        |                |
|----------------|-----------------------|----|--------|----------------|
| ○事業所名          | 児童発達支援・放課後等デイサービスCiel |    |        |                |
| ○保護者評価実施期間     | R 7 年 2 月 5 日         |    | ～      | R 7 年 2 月 28 日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                | 13 | (回答者数) | 5              |
| ○従業員評価実施期間     | R 7 年 2 月 5 日         |    | ～      | R 7 年 2 月 10 日 |
| ○従業員評価有効回答数    | (対象者数)                | 7  | (回答者数) | 5              |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年3月7日              |    |        |                |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                             | さらに充実を図るための取組等                                                       |
|---|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 1 | 利用者の様子について日々共有が行えていること。                    | スタッフ同士に関しては、ミーティングを通して共有を行っている。<br>保護者とはLINE等の媒体で常時連絡が可能な体制をとっており、支援中の写真等も共有している。 | 情報共有だけでなく、現在の支援内容やご意向を見直し充実した支援ができているかという部分も含めミーティングを行えるよう時間を見直している。 |
| 2 | 室内においても様々な経験や体験ができるようなプログラムを考案していること。      | 室内で十分に身体を動かすことができるよう、マットや鉄棒等を配置し、プログラムに取り入れている。<br>また、静と動を分けることができるよう、環境を整えている。   | 様々な体験や経験ができるよう、プログラムの考案を定期的に行っている。                                   |
| 3 | 保護者からの連絡に迅速に対応していること。                      | 保護者とはLINE等の媒体で常時連絡が可能なため、迅速に対応できる体制を整えている。                                        | 潜在的なニーズにいち早く気付くことで、保護者からの相談・申し入れに更に迅速な対応が可能となると考える。                  |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                                    | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                       |
|---|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 1 | 地域との相互協力の下で、地域に開かれた支援を行うこと。                | 地域住民等との交流などは行えていない状況。地域との関わりを持てるイベントや活動等を開催できていないため。                 | 地域住民の方との関わりや、行事への参加、自社での行事への招待を行う等、積極的に交流が行えるよう活動等を検討していく。 |
| 2 | 療育や支援方法、5領域と行った研修に力を入れ、スキルアップを行うこと。        | 専門分野や個々の計画に沿った支援を行う中で、プログラムの内容や教材や知識の不足が見られるため、固定化された支援内容になってしまっている。 | 内部研修以外にも、外部研修やオンラインを利用し、従業員のスキルアップを行う。                     |
| 3 |                                            |                                                                      |                                                            |

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

|                |                       |           |   |
|----------------|-----------------------|-----------|---|
| ○事業所名          | 児童発達支援・放課後等デイサービスCiel |           |   |
| ○保護者評価実施期間     | 令和7年2月5日 ～ 令和7年2月28日  |           |   |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                | 12 (回答者数) | 4 |
| ○従業者評価実施期間     | 令和7年2月5日 ～ 令和7年2月10日  |           |   |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                | 7 (回答者数)  | 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年3月7日              |           |   |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)と思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                             | さらに充実を図るための取組等                                                       |
|---|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 1 | 利用者の様子について日々共有が行えていること。                   | スタッフ同士に関しては、ミーティングを通して共有を行っている。<br>保護者とはLINE等の媒体で常時連絡が可能な体制をとっており、支援中の写真等も共有している。 | 情報共有だけでなく、現在の支援内容やご意向を見直し充実した支援ができていくかという部分も含めミーティングを行えるよう時間を見直している。 |
| 2 | 室内においても様々な経験や体験ができるようなプログラムを考案していること。     | 室内で十分に身体を動かすことができるよう、マットや鉄棒等を配置し、プログラムに取り入れている。<br>また、静と動を分けることができるよう、環境を整えている。   | 様々な体験や経験ができるよう、プログラムの考案を定期的に行っている。                                   |
| 3 | 保護者からの連絡に迅速に対応していること。                     | 保護者とはLINE等の媒体で常時連絡が可能なため、迅速に対応できる体制を整えている。                                        | 潜在的なニーズにいち早く気付くことで、保護者からの相談・申し入れに更に迅速な対応が可能となると考える。                  |

|   | 事業所の弱み(※)と思われること<br>※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                                    | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                       |
|---|------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 1 | 地域との相互協力の下で、地域に開かれた支援を行うこと。              | 地域住民等との交流などは行えていない状況。地域との関わりを持てるイベントや活動等を開催できていないため。                 | 地域住民の方との関わりや、行事への参加、自社での行事への招待を行う等、積極的に交流が行えるよう活動等を検討していく。 |
| 2 | 療育や支援方法、5領域と行った研修に力を入れ、スキルアップを行うこと。      | 専門分野や個々の計画に沿った支援を行う中で、プログラムの内容や教材や知識の不足が見られるため、固定化された支援内容になってしまっている。 | 内部研修以外にも、外部研修やオンラインを利用し、従業員のスキルアップを行う。                     |
| 3 |                                          |                                                                      |                                                            |